

# 代表事例

## 物流生産性向上伴走支援事業

令和8年3月



公益財団法人 **食品等持続的供給推進機構**  
Organization for Sustainable **F**ood Supply **S**ystem

# 再整備計画策定支援

## ■ 中央卸売市場開設者

### 支援内容

- 再整備事業にあたり、コンサルタント会社や事業協力者との協議を重ねているが、事業の推進に苦慮している。場内外の物流、整備手法等に精通する専門家によるアドバイスを希望

### 支援結果

- 第1回**：現状課題のヒアリングを実施。必要な施設機能等を他市場の事例を交えてアドバイス実施。
- 第2～3回**：方向性を確認。事例を紹介。その先の施設要件等の具体的な議論に進めるためには卸側の事業コンセプトを明確にする必要があることを提言。卸、仲卸が連携して行っていくべきであることを提言。
- 第4回**：協議会に参加、他市場の事例紹介含め講演。市場内の卸、仲卸に向けて、研修会を実施。

### 改善テーマカテゴリ

輸送・配送	
保管	
荷役	
包装	
流通加工	
情報(デジタル化)	
物流機器、物流資材	
物流戦略	
その他	○

### 今後の展望・残課題

- 中継拠点としての具体的な取組のため、施策等の検討
- 卸、仲卸の垣根を超えた連携が必要であり、具体について継続検討。
- 再整備後の使用料高騰に耐えられる経営戦略の見直し、再整備の実現可否検討

### 総括

- 中継拠点機能を発揮するため、施策の推進が必要である。
- 再整備については、施設要件の見直し、もしくは高騰する使用料に耐えられる経営戦略に切り替えていかなければならない。
- 市場関係者の意識改革としての研修会実施は一定の効果が見られたと考えられる。

## ■ 業務用食品卸売業

### 支援内容

- 在庫数管理及び入出庫作業の精度の向上
- 庫内業務のDX化の活用による生産性の向上
- 庫内作業員の意識改革

### 支援結果

- 第1回**：現状把握、現場視察、方向性の指導。商品が棚に収まり切らず、カートが滞留している現状を確認
- 第2回**：現場視察によって抽出された課題としてカートの滞留を指摘。現状オペレーションの改善を提案。
- 第3回**：ピッキング稼働時間とカート滞留時間を可視化、分析し改善効果を提示
- 第4～6回**：ピッキングオペレーションの分析を深化。正社員による常温フロア帯の指導を提案し、効率化。
- 第7回**：庫内のレイアウト変更のため、物流機器メーカー業者立ち合いの下、現場視察。不動在庫についての分析。
- 第8回**：庫内のレイアウト変更案の提示、今後のSKU数保持の方針を議論
- 第9回**：不動在庫の確認、SKU保持目安と廃止の検討。分析により、多数の不動在庫が存在が判明し、廃止する商品の線引きを議論
- 第10回**：不動在庫の削減により、棚数を減らせられるため、棚数を減らした場合のレイアウト案を提示

### 改善テーマカテゴリ

輸送・配送	
保管	○
荷役	
包装	
流通加工	
情報(デジタル化)	
物流機器、物流資材	○
物流戦略	
その他	

### 今後の展望・残課題

- 庫内レイアウト変更については、実施する方針であり、物流機器メーカーとのすり合わせを経て、来年実施想定。
- SKU数の削減についても、対象SKUの特定方法を専門家より指導され、社内で検討の予定

### 総括

- 庫内オペレーションの改善として、ピッキング時の効率化、作業スペース確保のためのSKU数削減を提案。来年度に具体的な改善施策を実行するための計画が行われた。
- 特にSKU数削減においては、不動在庫、利益貢献が低い商品の選定が可能なエクセル表を提供し、社内での自主的な改善行動を促すに至ったため、非常に効果的な支援となったと考えられる。

## ■ 中央卸売市場開設者

### 支援内容

- 市場内の各種整備を行うにあたり、荷下ろし等作業エリアが制限されるため、業務効率化により、整備期間中も支障なく市場運営を行いたい。効率化のアイデアについてアドバイスを希望

### 支援結果

- 第1回**：ヒアリング、現地視察を実施し、課題を整理。現行の効率を維持した整備計画遂行のため、卸2社のプロジェクトの本格稼働意識高めるべく、卸を含めた会議を行うことを提案。
- 第2回**：専門家より、協調領域と競争領域を理解し、連携が重要であることを提言。整備計画遂行のため仲卸も含め、市場全体で連携を図っていく方向性を提示。
- 第3回**：今後の進め方について議論を実施。整備計画に伴う市場内のルール変更について事前に周知することを提案。そのための、当事者間の調整議論を進めるべきであると提言。
- 第4回**：整備計画遂行のため、市場関係者全体での説明会を実施する方針となり、説明会の内容について、開設者、卸を含め会議実施。
- 第5回**：仲卸に対して、整備にあたっての協力要請を目的とする説明会を実施。参加者には概ね協力いただく方向で納得いただいた。

### 改善テーマカテゴリ

輸送・配送	
保管	
荷役	
包装	
流通加工	
情報(デジタル化)	
物流機器、物流資材	
物流戦略	
その他	○

### 今後の展望・残課題

- 具体的な整備工事に向けて、細かな動線ルールなどについては、今後、当事者間での密な調整、議論が必要。

### 総括

- 本件走支援によって、整備計画の本格スタートを切ることができた。
- 説明会実施により、整備計画の意義と意識の共有、共感ができ、整備計画外においても、連携のきっかけとなりやすい機会になったと考えられる。

## ■ 中央卸売市場青果部卸売業者

支援内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>RFID対応標準プラスチックパレットの運用管理</li> <li>人手を要さない場内運用状況の把握（使用先及び数量）</li> <li>荷役業務の効率化と、今後の電子化を見据えた総合的なDX推進に向けたアドバイス</li> </ul> <p>【追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝票情報電子化に向けたアドバイス</li> </ul>

支援結果
<p><b>第1回</b>：現状課題のヒアリングとインフラ面の視察を実施。深夜帯のオペレーションを視察。</p> <p><b>第2回</b>：入荷現場を視察し、パレット運用最適化、動線改善、安全管理強化、検品効率化を検討。レンタル化や木パレ削減を段階的に進める方向性を確認。</p> <p><b>第3回</b>：納品伝票電子化とパレット標準化について協議。パレットは将来的にレンタル（プラパレ）へ移行する方針。実証実験について検討。</p> <p><b>第4回</b>：伝票電子化・庫内動線改善・パレット標準化を中心に協議。パレットについて、実証実験で可視化を行う方針。実証実験の計画案を提示。費用・条件の整理を実施していく。</p> <p><b>第5回</b>：パレットのプラスチック化と伝票データ連携の中長期方針を整理し、来年度の実証実験内容を提案。運用ルールを作りながら効果検証を進める方向。</p> <p><b>第6回</b>：自社プラパレに追跡機器を付け、紛失・運用実態を可視化する。</p>

改善テーマカテゴリ	
輸送・配送	○
保管	○
荷役	○
包装	
流通加工	
情報(デジタル化)	○
物流機器、物流資材	○
物流戦略	
その他	

今後の展望・残課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>自社プラスチックパレットを利用した実証実験については来年も引き続き伴走支援にて支援していきたい意向。</li> <li>伝票電子化の進め方については県内事業者と摺合せをしながら行っていく方向。</li> </ul>

総括
<ul style="list-style-type: none"> <li>自社プラスチックパレットの運用について実証実験を通じて運用ルールを策定していく。伝票電子化については県内関係者間で方向性を摺合せながらやっていく。</li> </ul>